

COVID-19 スパイクトータル抗体定量検査 ご案内

「コロナワクチン、接種したけど本当に効果あるの？」 そんな不安な方のための『抗体検査』です

COVID-19 のワクチン接種が始まり、すでに 2 回目を終えた方も多くいらっしゃるかと思います。

日本においてワクチン接種で使用されている mRNA ワクチンは、大規模臨床試験の結果、95%の高い発症予防効果が報告されていますが、自分自身にきちんと抗体ができているかどうかはワクチンを接種しただけではわかりません。

そこで弥生ファーストクリニックでは、抗体がご自身の体にできているかどうかを確認できる、

「**COVID-19 スパイクトータル抗体定量検査**」をご用意しました。

詳しい検査詳細について

検査項目名	COVID-19 スパイクトータル抗体定量検査
検査方法	採血（0.5mL 程度）
検査試薬	ロシュ・ダイアグノスティックス社 「Elecsys® Anti-SARS-CoV-2 S RUO」
検査精度	感度（陽性の人を陽性と判定する精度）： 98.8%（※） 特異度（陰性の人を陰性と判定する精度）： 99.98% ※発症後 14 日以上：98.8% 発症後～6 日：88.6% 発症後 7～13 日：85.5%
検査費用	3,300 円（税込） ※健康診断受診時の血液オプション追加時 4,400 円（税込） ※抗体検査単独での受診時

※本検査は研究用項目としての検査となります。

※検査センターの結果報告書でお出しいたします。本検査診断書や証明書等の書類は発行できませんので、あらかじめご了承ください。

★このような方に検査をおすすめします！

- ☑ワクチン接種後に副反応がなく、ワクチンが効いているのか不安な方
- ☑ワクチンの効果を知りたい方
- ☑以前、風邪症状があり、新型コロナウイルス感染だったか知りたい方
- ☑ワクチン接種前や接種後に自分の抗体価を確認したい方

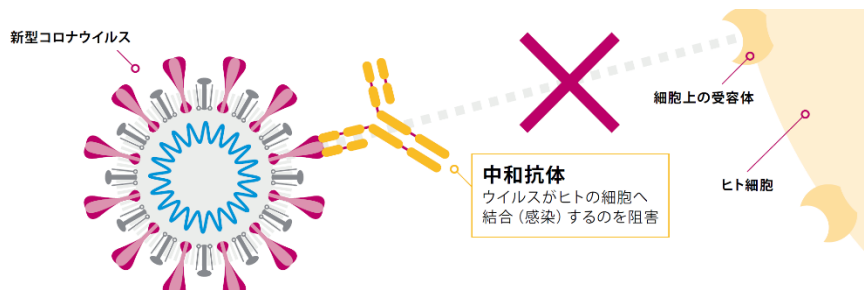


スパイクトータル抗体定量検査とは？

よく目にする COVID-19 の画像にはたくさんの突起物がついているかと思います。これが「スパイクタンパク質」と呼ばれるもので、ヒトの細胞にある受容体に結合することで感染を引き起こします。

しかしワクチンを接種することにより、このスパイクタンパク質とヒトの細胞の受容体が結合しないようにする「中和抗体」というものが体内に生成されます。

この検査ではその「中和抗体」を調べることで、**COVID-19 に対してどのくらい抗体があるのかを知ることが可能**となります。



ワクチンに関する Q&A

Q1: PCR 検査との違いは何があるの？

A1: PCR 検査及び抗原検査は現在ウイルスが体内に存在しているかを調べます。それに対してスパイクトータル抗体定量検査は、**過去に COVID-19 に感染したかどうか、また体内にどれほど抗体ができていますか**を調べます。



Q2: どのくらいの抗体価があれば、感染を防御できるの？

A2: 抗体がどのくらいあれば COVID-19 にかからないかという明確な基準は、現時点では示されておりません。

本検査では、**中和抗体が 0.8U/mL 以上**測定されれば、中和抗体が産生されているとみなされます。研究では、2 回目ワクチン接種後の方の平均の抗体価は約 2,000~4,000U/mL となっております。(最大 50,000U/mL まで測定されます)

Q3: ワクチン接種しても、抗体ができない人は、どのくらいいるの？

A3: 一般的に免疫不全などの症状により、ワクチン接種により抗体が産生できない人はおよそ **10%程度**いると言われています。

検査は抗体検査のみ、もしくは健康診断や人間ドックのオプションとしても実施が可能です。
その他抗体検査に関してご不明点等ございましたら、お気軽に当院にお問い合わせください。



医療法人社団 朋翔会

弥生ファーストクリニック

〒164-0012 東京都中野区本町 2 丁目 46 番 1 号 中野坂上サンブライトツイン 3 階

【TEL】03-3320-7211 【FAX】03-3320-7212

弥生ファースト

検索

